よこね田んぼ 新棚田百選に認定

この度、よこね田んぼが「つなぐ棚田遺産」に認定されました。つなぐ棚田遺産とは、棚田百選の認定から二十年以上が経過し、中には荒廃の進んだ棚田も生じてきたことから、農林水産省が改めて棚田地域の振興に関する取組を評価し、優れた棚田を認定するものです。

よこね田んぼは、平成十年に保全活動をスタートして以来、地域の皆さまの継続したご協力を得て保全活動を続けることができています。またこの間、棚田のファンを増やし保全活動をより継続的に幅広く取り組めるよう、オーナー制度を始めるとともに、ＮＰＯ法人里山ベーすを立ち上げて、日本酒づくり等の新しい取組にも挑戦しています。

今後もこの千代の貴重な文化遺産を活かし、より魅力的な地域づくりにつながるような保全活動に取り組んでまいりますので、地区の皆さまのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。（よこね田んぼ保全委員会）

館報千代
第321号
発行　千代公民館
編集　広報委員会
印刷　龍共印刷株式会社

＜千代の人口＞
令和４年2月末日現在
男　739名（＋１）
女　812名（－１）
合計　1,551名（±０）

令和三年度 一年を振り返って

まちづくり委員会 会長 関口俊博

今年度も昨年に続きコロナ禍での一年となりました。七月から九月のデルタ株、そして今年一月からのオミクロン株といつ治まるともわからない状況のなかで今年も昨年度に続き、人生の節目となる入園入学、卒園卒業式、各種会議や行事、イベント等、縮小や延期又は中止となってしまいました。また定例執行部会や各種会議の開催に当たっては感染リスクを減らす為、出来る限り短時間で済むように参加者の皆さんにご協力を頂きました。

今年度からスタートした「第四次千代地区基本構想」について千代地区民が何らかの形で基本構想に携わってもらう為、新たな取り組みとして「基本構想推進シート」を作製し各戸配布しました。この取り組みについて、先ず執行部の専門部から取り組みを始めました。今後各区、各家庭でも取り組み内容を決め推進シートを活用して頂ければと思います。

二月十五日千代のよこね田んぼが「棚田百選」に次いで農林水産省の「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」に認定されました。諸先輩方が千代地区の文化遺産として守ってこられたよこね田んぼをこの認定を機会に気持ちを新たにし後世に繋いでいかなければと思います、今後も皆さんの御協力をお願い致します。

最後に、今年度一年間まちづくり委員会にご指導、御協力頂き有難う御座いました。

千代公民館 館長 木下貴文

令和三年度の公民館活動は、引き続き新型コロナウイルスの影響を受けました。

振り返れば新型コロナの大きな波は、令和三年三月末～六月半ば、七月初旬～九月末、令和四年一月初旬～現在迄という状況でした。

この状況の中、開催できた事業は・五月の竜東中校区スポーツ大会・六月の万古渓谷栃の木ツアー・八月の千代小学校での人形劇・十一月の千代峠交流会・千栄小学校での文化祭・ふるさと講演会・一月の令和三年度成人式でした。これに加え、館報千代は予定通り六回発行し、縮刷版も発行することができました。

中止の決断をした事業は・五月のマレットゴルフ大会・八月の令和二年度の成人式・九月のウォークラリー・十一月の市民運動会・二月の囲碁ボール大会です。

公民館の各委員会のメンバーは、計画の実施が不透明な状況でも、より良い事業になるよう前向きに打ち合わせを行い、準備に取り組んでくれました。

その他の事業としての山村広場の整備作業や公民館の一斉清掃には、関係者の皆さんのご協力を頂き、施設がいつでも利用できる状態で管理できたことに感謝申し上げます。

来年度も新型コロナに関する諸々の状況を見ながら事業の運営を判断することになりますが、子どもさんを始め多くの皆さんに参加して頂き、交流の機会となる企画を提案させていただきたいと思います。

かんげきバスツアー

千代地区文化祭

総務企画部 部長 林 完治

総務企画部長として一年間務めさせて頂きまして、委員長はじめ地区の皆様に大変お世話になりました。職務を遂行することで、自治のこと、千代のことを学ぶことができ貴重な体験をさせて頂いたと感謝致します。

生憎のコロナ感染流行により予定していた行事がなかなか実施できなかった一年になってしまいました。そんな中、よこね田んぼの共同作業に参加し地区の皆様と顔見知りになれたことは、Ｕターン者の私には有難い体験でした。

今後も健康に留意し、農業に励みながら、地区を応援していきます。

産業振興部 部長 金田光廣

一年間、コロナ禍の中、地区の皆様には例年以上のご協力を賜り誠にありがとうございました。力及ばずよこね米の収穫量は前年を大きく下回ってしまいましたが、一方で、地区内外の多くの機関・団体・保育園や学校等の皆様方との協働による継続した保全活動が評価され、この程、農水省から「つなぐ棚田遺産（ポスト棚田百選）」の認定を受けることができました。

これを機に、整備された野池親水公園や下村広場、万古渓谷などとともに都会の方々にその魅力を満喫してもらう取組が更に進んでいくことを願っています。

イナズマ

Serendipity（セレンディピティ）という言葉をご存知だろうか。偶然にめぐり会った素晴らしい幸運、また幸運な偶然を手に入れる力のこと。私が最近めぐり会った幸運は、ある『推し』との出会いだ。

始めは渋々だった。が、そこから沼にはまるまではあっという間だった。まるで恋に落ちたかの様に、四六時中『推し活』をする私の変化に、家族は皆驚いた。だが、一番驚いたのは私自身だった。ときめきとは縁遠い不惑の四十代。それが、ドキドキ、ワクワク惑いの連続。そんな自分が嬉しかった。この幸運な出会いに感謝した。

ここで考えてみた。私の生活を変えたのは確かに推しの存在だが、この出会いを掘り出したのは私自身だ。いつもなら興味がわかないから、忙しいから、できないから…と理由をつけて敬遠していたことを『とりあえずやってみた』ら、心が動き出した。これこそが幸運掘り出し上手になる方法なのかもしれない。心の持ちようや行動で、日常が幸運との出会いの場に変わるということだ。

どんな所にも幸運は埋もれていて、誰もが日々、幸運な偶然を手に入れる力を秘めている。新生活が始まる四月、Serendipity な心で何事にも楽しんで取り組んでいけると思う。

基盤整備部 部長 太田孝雄

この一年間、基盤整備部の活動を通じて、主に二点の課題に向き合ってまいりました。まず、I・Uターンでの移住定住に欠かすことのできない空家利用に向けての意向調査。次に少子化により活動面で苦労されている消防団に対する協力のあり方です。いずれも地味な活動ではありましたが、千代が目指す『魅力あるまちづくり』には重要な取り組みでした。これからも千代地区民の一人として「かかわろう千代・やろうぜ千代」の精神で協力したいと思います。微力な私を支えてくださいました皆様に感謝申し上げます。

環境保全委員会 委員長 清水智

今年度環境保全委員会では主に以下のような活動をしてきました。

①各地区のリサイクルステーションの管理
②びんとペットボトルの回収当番（二か月に一回）
③各区環境保全パトロール
④委員全員による不法投棄回収（米峰大橋付近）
⑤ごみゼロ運動・一斉河川清掃（各区で実施）

こうした活動を通じ、千代地区の皆さんの、環境保全に対する意識の高まりを感じることができました。これからも美しい千代を守っていかなければと改めて思います。皆様のご協力を、お願いいたします。

健康福祉委員会 委員長 野田まり子

健康福祉委員の理解が十分ではないものの、多くの健康福祉委員の方々にお世話になりながら何とか一年が過ぎようとしています。コロナによる活動中止もある中で地区内外で健康福祉事業活動の多さには驚かされ、知らなかった事も多々ありました。それでも高齢者福祉の推進活動としてフォローアップ教室や地区のいきいき教室の支援参加する事で少しわかった事があります。何かを一緒にする事で明るく健やかになれる事です。健康福祉の活動は巾広く奥深く、人と人がつながっていく地域づくりのひとりになる事では・・・

生活安全委員会 委員長 吉澤富夫

今年度の基本方針『みんなでつくろう安全で安心な千代』実現のための活動を進めてきました。コロナ禍の影響で委員会の開催など制約を受けましたが、ほぼ活動計画は達成できました。小学校、保育園での交通安全教室の開催援助。交通安全週間での街頭指導、のぼり旗での啓発。地区内の交通の障害になる支障木除去作業の補助金支給。千代駐在所のご協力による特殊詐欺等防止の啓発活動です。

これからも交通安全や防火、特殊詐欺は常に自分自身が気を付けていただきたいと思います。

地域振興委員会 委員長 小嶋啓二

一年間お世話になりました。コロナ感染症の影響を受け就任して二年間何も出来ない状況の中、万古渓谷・野池親水公園・下村広場の環境整備を実行する事が出来、文化祭には屋台を出店させて頂きお役に立てたと思います。この委員会を通して地域があっての我々だと言う感謝を形に表していく事が大切だと思っております。地域団体の集合体である委員会ですが、各団体の会員数も徐々に減っており地域の皆さんのご参加・ご協力が必要になっております。それぞれの団体の趣旨をご理解の上ご加入お願い申し上げます。

体育委員会 委員長 松村孝浩

今年度一年間体育委員会として、大変お世話になりありがとうございました。

日頃から体育事業活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。今年度の活動も昨年と同様新型コロナウイルス感染症の影響で計画していた事業は中止。代替事業も計画しましたが豪雨により中止となり、なかなか思うようには行きませんでした。来年度はまだまだコロナに振り回されそうですが、少しでも不安を払拭できるような活動が出来ればと思います。

改めまして、一年間大変お世話になりました。ありがとうございました。

文化委員会 委員長 福澤祐二

今年度も新型コロナの影響を受けながらも、いいだ人形劇フェスタ、千代峠交流会、千代地区文化祭、ふるさと講演会、千代地区成人式と文化委員会の事業を行うことが出来ました。ただひとつ令和二年度の成人式が延期され中止となったことが新成人とそのご家族にはとても残念だったのではと思います。ウイルス感染防止策を千代公民館長および主事と共に委員の人達と話し合い、内容の変更はありましたがどの事業も天候に恵まれ多くの皆様の参加、協力をいただけて、とても感謝しています。一年間ありがとうございました。

青少年育成委員会 委員長 林栄次郎

青少年育成委員会活動を一年間振り返ってみた。六月に行った万古渓谷沢渉りツアーが、コロナ禍の合間に子供達を連れていくことが出来ました。とても好評であり、中学生になってもいきたいとの声もあり、やりがいのあるものとなりました。また、文化祭の一角の創作教室でも、子供達が一度は立ち止まり興味津々な眼差しで参加する子、次回は必ずやという子と、いろいろでしたが、やって良かったと実感出来ました。来年こそは、ウォークラリーも実行できるように、計画をしていき、また、コロナが収まりますように。

広報委員会 委員長 松下啓介

今年度もコロナに振り回される一年となった。

行事の中止が相次いで、予定していた記事が無くなり、ずいぶん館報の作成に苦労させられたが、なんとか発行することができた。

新年早々に公民館が使用できなくなり編集作業と校正が二月になり発行が遅れる事態となってしまったが、なんとか年六回発行の見通しがついた。

コロナ禍のなか、地域の皆様や広報委員の協力があって無事一年間、発行できたことに感謝申し上げます。

来年度も皆様の御協力をお願い致します。

千代診療所 唐澤先生 長い間ご苦労様でした

まちづくり委員会会長 関口俊博

唐澤先生が二十四年間勤められた飯田市立千代診療所が昨年十二月二十八日をもって休止となりました。診療最終日二十八日の午後診療所に伺い千代地区を代表して正副会長、総務企画部長、荒尾センター長の四名で唐澤先生、小沢看護師さん、事務員の三沢さんに長年のご尽力とご苦労に感謝の意を込めてそれぞれに花束を贈呈しました。

ご承知のように唐澤先生は一九九七年の六月から二十四年間診療所の医師として勤められました。温厚な人柄で患者の皆さんに信頼も厚く話を聞いてもらうだけで安心出来るそんな人柄の先生であったと思います。先生とは度々お話しする機会があり千代は暮らしやすく、人柄も良く生活するには大変よいところだし楽しく診療をさせてもらった、千代の皆さんには大変お世話になったと言っておられました。

先日、二月十四日に私と荒尾センター長で唐澤先生のご自宅を訪問し、まちづくり委員会から感謝状と記念品をお渡ししました。

千代診療所の運営にあたっては先生のみならず御家族のご協力があって成り立っていたことを改めて思います。千代地区の為に長い間お勤めご苦労様でした、唐澤先生と御家族の皆様のご健勝ご多幸をお祈りすると共に感謝を申し上げます。

大将荒神

榊山敦子

二月五日（土）に、大将荒神が行われました。今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の対策として、マスクの着用、数珠と手指のアルコールでの消毒を行い実施しましたが、長野県にまん延防止等重点措置が出ている中、事前に参加する全員の方に抗原検査を行っていただき、陰性を確認したうえで行いました。地区の方々に協力いただき、無事にできて、本当によかったと思います。疫病が流行ったのを鎮める為に始まった大将荒神ですが、改めて、この新型コロナウイルスが早く治まって欲しいと願っています。

野池事の神送り

北澤勝

国の無形民俗文化財に指定されている「事の神送り」が二月八日（火）と十二日（土）に野池と芋平で行われました。

この行事は無病息災を願い、四百年以上前から始まったと言われており、疫病神を笹竹に乗り移らせて、地区境まで送り出す伝統の行事。

今年はコロナ感染防止のため、自宅で簡易抗原検査を済ませて集まってもらいました。この日芋平では、ワラで作った男神様と女神様の御神体をヒノキの葉で作った神輿の中に納め、大旗を先頭に蛇沼境まで送り出しました。

コロナが早く収束し、日常が戻るよう願いを込めました。

告知板

○四月十日（日）
御柱式年大祭
○四月十六日（土）
よこね田んぼ畦塗り
○四月二十三～二十四日（土日）
やまびこマーチ
○五月十四日（土）
よこね田んぼ田植えイベント
○五月二十二日（日）
ワンふらバレー大会
○六月五日（日）
土砂災害防災訓練
※予定は三月十四日時点の内容です。変更となる場合があります。

戸籍の窓

○お誕生
山口　蓮生（はすき）くん
峻生・薫穂　長男
（下村）